

【企業・団体名】 東京海上日動火災保険 株式会社

代表者 : 鹿児島支店長 古野 秀人
事業内容 : 損害保険業
所在地 : 鹿児島県鹿児島市加治屋町12-5
従業員数 : 110 名(男性 35 名、女性 75 名)
イクボス宣言をしている場合、宣言者とその年月日: /

【会社の取り組み】

<ノー残業の取組>
◆完全定時退社デーの設置(毎月第3週目の水曜日)
◆一斉定時退社励行週間の設置(毎月第3週目)
◆Go Go Challenge Dayの設置:週1回、業務を17:30までに終了する日を設定
<柔軟な働き方を支える取組>
◆勤務時間自由選択制度(マイセレクト)
◆在宅勤務制度
◆半日休暇:1年に24回まで午前または午後の半日単位で有給休暇を取得可能
<育児を支援する取組>
◆育児休業:最大満2歳に達する日まで取得可能
◆短時間勤務制度:最長で1日3時間まで、妊娠中から小学校3年生の年度末まで取得可能
<介護を支援する取組>
◆介護休暇:常時介護が必要な親族が1名の場合は毎年度につき5日、2人以上の場合は10日を限度として取得可能

【これまでの実績】

◆有給休暇取得率 100%
◆半日休暇利用率 75.9%
◆育児休業取得率 女性100% 男性0%
◆介護休暇取得率 0%

【社員の声】

・産休前から復職後まで複数回上司との面談があり、復職後の働き方などを相談することができ、復職後の不安が減った。(30代女性)
・育児休業を取得したことで、改めて子育てをしながら仕事ができる環境に感謝し、生産性を意識した働き方をしようになった。(30代女性)
・育児休業中にも家のパソコンで社内の情報を得ることができたので、復職がスムーズに出来たと感じる。(20代女性)
・短時間勤務により自分も子供も新しい生活サイクルに徐々に慣れることができた。(30代女性)
・在宅勤務は家で会社と同じシステムを使って仕事ができるので通勤時間を気にする必要なくて良かった。(30代女性)
・至急の案件がある中、子供が熱を出した際も、在宅勤務を利用することで子供のそばに居ながら業務が出来き自分自身も気持ちが楽だった。(30代女性)
・育児休業を活用し、子育ての合間で資格取得の勉強をすることが出来た。子育てに加え自己研鑽にも時間を使うことが出来た。(30代女性)

【今後の取り組み・目標】

「『多様な働き方』を認め合う」ための企業風土の改革を推進する観点から、子が誕生した男性社員は連続5営業日以内を目安に原則「育児休業」を取得することで、「育児参加への第一歩」をより強く意識し、各職場においても更にこれを推奨する風土を醸成する